○議長（小林哲雄）

日程第6 報告第4号 平成25年度開成町一般会計繰越明許費の繰越しについてを議題といたします。

説明を担当課長に求めます。

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

それでは、報告第4号 平成25年度開成町一般会計繰越明許費の繰越しについて。

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、平成25年度開成町一般会計繰越明許費の繰越しについて、別紙のとおり報告する。

平成26年6月27日提出、開成町長、府川裕一。

この報告は、地方自治法施行令第146条第2項の規定において、普通地方公共団体の長は、繰越明許費に係る歳出予算の経費を翌年度に繰り越したときは、翌年度5月31日までに繰越計算書を調整し、次の会議において、これを議会に報告しなければならないとされておりますので、今回、報告をするものでございます。

次のページをお願いいたします。平成25年度開成町一般会計繰越明許費繰越計算書。

7款土木費、2項道路橋りょう費、橋りょう整備事業費、金額2,250万円。うち翌年度繰越額2,250万円、未収入特定財源、国庫支出金785万1,000円、一般財源1,464万9,000円。

この案件は、源治橋架け替え設計委託について、南足柄市の用地交渉の遅れから、当該民地への立入調査を控える必要が生じたため、平成25年度内に完了できない見込みとなったことにより、繰り越されたものでございます。

続きまして、4項都市計画費、南部地区土地区画整理事業支援事業費、金額1億3,506万4,000円、うち翌年度繰越額225万円、一般財源225万円。

この案件は、平成25年度に予定しておりました、道路築造箇所に移転補償交渉が難航したことから、年度内に完了できない見込みとなったため、町からの支援事業費のうち、当該事業費分が繰り越されたものでございます。

報告は以上です。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。質疑ございませんか。

10番、小林秀樹議員。

○10番（小林秀樹）

10番、小林秀樹です。源治橋の架け替えに伴う予算なんですけれども、繰越明許費なんですけれども、一般財源で1,400万でございます。それでこの見積もりが1,100万ですね。したがって、330万ほどの差額が出るんですが、これはどういうふうな取り扱いになりますか。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（池谷勝則）

確認ですが、見積りというのは、入札の結果ということでよろしいのでしょうか。

○議長（小林哲雄）

小林秀樹議員。

○10番（小林秀樹）

失礼しました。5月27日の入札結果でございますね。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（池谷勝則）

こちらにつきましては、平成26年度、年度間で実施をするということで繰り越しさせていただいております。事業につきましては、早くできるということで、既に今、議員言われたとおり、入札を行いまして、今、事業を進めているわけですが、今、2回、3回ですか。業者と調整をしている中でも、まだ、ちょっと必要な調査等が発生する可能性があるということなので、もう少し内容を確認した後、この金額についてはもう少し置かせていただいて、最終的なところでは精算をしていきたいと考えております。

○議長（小林哲雄）

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

少し1点補足をさせていただきます。こちらは繰越事業費になってございますので、基本的に橋りょう整備事業費の中でのみ利用が可能だということで、一般的にはそこで残が出た場合には、通常そのままの形で残ってまいりますので、ただ、変更の契約等が発生するというのであれば、同事業内においては、それを使うことができるということですので、補足をさせていただきます。

○議長（小林哲雄）

10番、小林秀樹議員。

○10番（小林秀樹）

関連です。10番、小林秀樹です。そうだとしたら、既に入札結果が過去に出て、その後の繰越計算ですので、それは当初からその金額は除いてもいいんじゃないかなと思うんですが。

○議長（小林哲雄）

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

再度お答えをさせていただきます。こちらの繰越しについては、考え方は、上限額の設定でございますので、これを超えては繰り越せませんということですから、結果的にそこに残が出た場合にも、特に下げるということはなくて、計算書上は5月31日現在ということをつくっておりますので、特にその分を何かに充てるとか、

あるいはそれ以上の負担をすとかということではございませんので、ご理解をいただきたいということでございます。

○議長（小林哲雄）

8番、山田貴弘議員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。その下の都市計画費の中で、南部土地区画整理事業、支援事業費ということで225万円計上されております。説明の中で、道路のうんうんというので、濁した感じで、どんな内容なのかというのは、わからなかったので、すみませんけれど、もう一度お願いしたいと思います。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（池谷勝則）

それでは、説明いたします。区画整理につきましては、当初から道路の位置、または水路の位置、公園の位置、全て決めてございます。皆さんの承諾いただいた中で事業を実施して、計画どおり行うということで、今年度一応最終年度という形で進めておるところでございますので、これ以上変更というのは、あり得ないだろうということで、当初から進めてきたわけですが、どうしても道路とか水路でつくるところにもととの住宅、または建物がある場合は、それを移転する、あるいは新しい換地されたところに移っていただくと、そういうところがございまして、まだ移転が完了されていないことによって、そこで計画していた道路が、または水路が整備できなかつたと、そういうことで、その分を26年度に繰り越しさせていただいたということになります。

○議長（小林哲雄）

山田議員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。今、道路、水路等ということで、工作物に対して限定したような言い方に聞こえるんですが、そこには移転補償の部分は、事業費の補助のほうではもう終わっているという解釈でいいのか、この中に含まれて、事業費として支援をしていくのか。そこら辺詳細、限定したような感じがかったので、そこら辺お願いします。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（池谷勝則）

今回のこちらの部分につきましては、あくまでも工作物の関係で、町の助成を出しているところがございますので、その部分だけが、次年度繰越しという形で入っております。

○議長（小林哲雄）

よろしいですか。ほかに質疑ございますか。

(「なし」という者多数)

○議長 (小林哲雄)

以上で、報告第4号 平成25年度開成町一般会計繰越明許費の繰越しについての報告を終了いたします。